

施策評価シート

評価年度	平成25年度	事業実施年度	平成24年度	施策主管次長名	総務部次長 宇佐美 勝也	
施策番号	72	施策名	市民サービスを高める行政運営の推進		総合計画掲載頁	160
関係課名	企画政策課、広報課、情報推進室、財政課、総務課、職員課、市民課、協働推進課、福祉課、環境課、都市計画課、教育行政課、議事課					

1. 施策の概要

施策の 対象	市民	対象指標名	単位	H23実績	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
		① 人口	人	58,762	59,141	61,400	62,500	63,700	64,700
施策の 目的 意図	・行政情報を積極的に公表・公開し、市政に関心を深めてもらう。 ・インターネットを介して各種の申請・届出及び予約をしてもらう。	成果指標名	①	市ホームページへのアクセス件数					
			②	広報紙以外で行政情報を得ていると答えた人の割合					
			③	インターネット予約可能施設でのインターネット予約の割合					
			④	電子申請及び電子届出を受けた件数					

2. 成果指標

指標 ①	成果指標名	単位	H23実績	H24計画	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
	市ホームページへのアクセス件数	件	481,395	482,000	541,181	542,000	543,000	544,000	545,000
指標 ②	成果指標名	単位	H23実績	H24計画	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
	広報紙以外で行政情報を得ていると答えた人の割合	%	20.2	22.0	34.2	34.5	35.0	35.5	36.0
指標 ③	成果指標名	単位	H23実績	H24計画	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
	インターネット予約可能施設でのインターネット予約の割合	%	57.9	62.0	63.9	64.0	65.0	65.0	65.0
指標 ④	成果指標名	単位	H23実績	H24計画	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
	電子申請及び電子届出を受けた件数	件	549	550	559	550	550	550	550

3. 施策の評価

項目	評価のコメント				
施策の成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	・市に関する情報を入手するとともに、まちづくりに積極的に参加・参画する。 ・インターネットを使用できるようにする。			
	行政	・市政に関する情報を積極的に発信し、市民の参加・参画による協働のまちづくりを推進する。 ・インターネットを活用した公共施設予約等の対象業務を拡充し、市民の利便性を向上する。			
達成度評価	近隣との比較	・市ホームページへのアクセス件数は、市民1人あたり9回以上と近隣市に比べて多い。 ・インターネット予約の割合は、増加傾向にあるが近隣市の実績値よりもわずかに低い。 ・電子申請、届出システムによる申請及び届出の件数は、近隣市も本市同様に少ない。			
	過去3年間の実績との比較	・市ホームページへのアクセス件数は、22年度と比較すると24年度では25.4%と大幅に増加している。 ・インターネット予約の割合実績は、21年度47.7%、22年度60.6%、23年度57.9%で、24年度は63.9%と増加傾向にあり、特に陸上競技場、テニス場施設での予約が増加している。 ・電子申請、届出の件数は、22年度375件、23年度549件で、24年度は559件と前年度より1.8%増加している。			
現状と課題	◆(現状)市ホームページへのアクセス件数、インターネット予約、電子申請及び届出は年々増加している。また、市民との情報の共有は「信頼と協働によるまちづくり」の基礎となるものであり、重要度も高いことから常に市民の視点を重視した最新の行政情報の提供に努めている。 ◆(課題)各指標とも計画値以上ではありませんが、市民アンケート調査の結果からは、市政情報は「広報みよし」が主な入手先であり、「市ホームページ」からと答えたのは531件中51件で全体の1割ほどであり、年代別では、20歳代と50歳代以上の方の情報入手について、前年度同様に少数となっている。				
今後の取り組みの方向性および次年度の取り組み	◆市ホームページに掲載している行政情報は、市民の視点を重視し迅速な更新と掲載内容の更なる充実に努める。 ◆公共施設予約システムで予約可能な公共施設は、施設の中に利用者用の予約端末が設置されており、利用申込者へのインターネット予約体験などによる啓発で利用促進に努める。 ◆インターネットを通じて、誰でもどこからでも申請・届出が行なえる電子申請及び届出について、各担当課、各施設において啓発を行ない更なる利用促進に努める。 (26年度の取り組み) ・高齢者や障がい者など誰でも利用しやすい「ウェブアクセシビリティ」に配慮したホームページ管理システムに更新する。 ・施設予約システム導入後10年以上経過(部分改修は実施)しており、システム的にも旧式化しているため、セキュリティ強化の必要からも更新を検討する。				
市民意識	重要度	高い	満足度	低い	平成24年度市民アンケート調査による